

事業名	林業・木材産業構造改革事業費			調書番号	71
細事業名	林業・木材産業構造改革事業費補助金	財務コード	013502		
担当部課室	森林環境 部	林業振興 課	普及指導 担当 (内線)	6222	

I 事業の概要

実施期間	始期 S40 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	補助(山梨県林業・木材産業対策協議会)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	林業・木材産業構造改革事業を実施する市町村、森林組合、林業者等の組織する団体	路網整備や機械化等による林業生産性の向上、特用林産物等の生産体制の確立と販路の拡大などを通じて、効率的かつ安定的な林業経営が行われている。
結果、何に結びつけるのか	林業の持続的かつ健全な発展	
内容	<p><目的及び事業内容></p> <p>・林業・木材産業構造改善事業等の補助金を活用し、市町村や林業団体等が整備した、木材加工施設等の経営状況の改善を図るため、山梨県林業・木材産業対策協議会が実施する、中小企業診断士らによる経営管理指導や先進地視察研修会等の開催に係る経費に対して、補助金を支出している。</p> <p><補助先></p> <p>・実施主体:山梨県林業・木材産業対策協議会</p> <p>・実施主体の会員内訳:国、県、森林組合、林業・木材産業構造改革事業実施市町村、林業団体等(47団体)</p> <p><補助率及び補助対象経費></p> <p>・補助率:県1/2</p> <p>・補助対象経費:講師謝金、交通費、事務費等</p>	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	経営管理指導実施件数(件)	目標	4	4	4	4	4	4
		実績(見込)	4	4	4	4	4	4
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	県内素材生産量(千m3)	目標	166	179	187	218	248	279
		実績(見込)	151	156	202	209	214	279
		達成率	91%	87%	108%	96%	86%	100%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算)単位:千円		124	124	124	124	124	124	124

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	中小企業診断士の経営管理指導等により、事業体が経営改善に向けた需要先の確保に取り組むなど、意図した成果を上げている。
成果指標	b		

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	本事業の継続により、林業の持続的かつ健全な発展と競争力のある木材産業の構築及び地域材の安定供給が図られ、より一層の成果向上が可能。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	事業規模は適当であり、見直しの余地は無い。		
見直しの必要性	無	本事業は、補助事業を活用した施設の、健全な運用の確保に必要なかつ有効であることから、見直しの必要は無い。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。